

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援センターかしのき園（毎日通園）		令和7年 2月 25日				
	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11			・室内では、個々に遊べる場所もあり、遊戯室ではダイナミックに動けたり、玩具遊具等の出し方も工夫している。 ・今年度は利用人数が少ないため、スペースは十分にあり、個別で遊ぶスペースが確保できている。	・療育室は十分であるが、トイレは狭く、使いづらいと感じる。（混雑する）
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1			・配置数は適切であるが、個人の療育に対する知識は向上が必要。 ・職員の人数は余裕があり、療育中に他の仕事ができる利点がある一方で、子どもの援助が過剰になっていると思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11			・個人のマークや絵カードを活用し、ロッカー等がわかるようにしている。 ・視覚から入れるようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11			・毎日掃除や消毒等を行っていて、清潔感を保つことができていると思う。 ・生活空間の清潔さは毎日の念入りな清掃等職員の手で行っているため、環境は良い。	・トイレ等の空間は、人の出入りには狭いと思う。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	1	・個別の部屋はないが、クールダウンする際などはホールを使用している。	・個別に移動できる場所はありますが、特に専用スペースが設けられていないため、対応が重なる場合、不足していると思われる。 ・子どものクールダウン専用の部屋はない。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	2	1	・クラスごとの月案・行事の反省会などクラス内での振り返りを行っている。 ・年2回支援会議を行っている。	・全員が一度に揃う事が時間的に難しいため、振り返りに同席で参画しにくい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	3		自己評価と付帯調査を行っている。	・調査の結果、業務改善ができるところとできないところがある。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2		・活動の反省等を振り返りかえる場を設け、業務改善につなげている。	・職員の面談は行われているが、中々日々の改善までにはつながっていないため、小さい事から改善につなげていく必要がある。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	2		・法人の外部アドバイザーに施設を見てもらうことはあるが、監査や第3者評価は近年行っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1		・定期的な園内研修が設けられている。	・研修の機会は多く、向上を図るきっかけにはなるが、外部との交流・研修などの機会も設け、参考になることを取り入れたい。
適切な支援の	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			・作成し、公表している。	引き続き取り組んでいく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11			・支援会議で行っている。	・常に行動観察を行い、保護者の相談・困りごとなどを含めて作成している。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11			・個別支援計画を作成する為の会議を全体で行っている。 ・職員への聴取ができている。	・会議の場は設けているが、発言の少ない職員もいる。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			・毎日の終礼等で情報共有を行っている。	・随時職員が確認できるように個々に資料を配布している。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2			・ツールは用いてない。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			・法改定後など項目の見直しを行い、必要な項目・内容の記載をしている。	・モニタリングのやり方や内容などの検討が必要。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1		・クラス活動は担任。全体活動は全職員で行っている。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2	・季節や子どもの興味に沿った活動を取り入れるようにしている。 ・今の子どもに合わせたプログラムで行っている。	・内容を見直し必要に応じた工夫をしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11			・集団活動、個々の特性を理解した計画を作成し支援を心がけている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		2	・毎日終礼を行い、打合せ等行っている。 ・支援開始前は必ず毎日ではできていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1		・毎日終礼を行い話し合いの時間を設けている。 ・特にその日の支援の反省を話し合い、次に繋げる工夫等を考えている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			・日記録にて日々の様子を記録している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	1	・半年に一度は支援計画を見直している。 ・モニタリング・見直しはもう少し必要だと思う。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	1	・会議参加はないが、定期的に電話や直接対話をし、状況を共有している。 ・今後深めていく必要がある。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2		・今後深めていく必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	3		・就学先等と引継ぎ等を行っている。 ・併行利用の実施は行っていない。就労する保護者が増えているので今後検討する必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11			・対面や書面で引継ぎを行っている。 ・小学校の職員が対象児童を見に来る機会も設けている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6	5		・市が実施しているネットワーク会議に参加し、センターや事業所との情報交換等を行っている。 ・今後はセンターとして今以上に深めていく必要がある。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	2		・園外研修の情報提供をし、必要に応じて個人で参加をしている。 ・年1回以上は外部専門家に園を見てもらい、助言・指導を頂いている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	2		・毎日通園の責任者が参加をしている。 ・特定の職員のための参加が多いので、外部会議に他の職員も参加できるように社会福祉・社会資源などの知識を深めていく必要がある。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11			・各行事を通して隣接のこども園との交流を行っている。 ・地域の人々との交流活動は行っていないので今後の課題にする。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			・毎日の連絡ノート、バスの乗降時、親子通園等で情報共有を行っている。 ・引き続き取り組んでいく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11			・親子通園にて勉強会を行っている。 ・主に母親に親子通園日に意見交換の時間を設けて、知識を高められるようにしている。 ・引き続き取り組んでいく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1		・入園説明会等で行っている。 ・引き続き取り組んでいく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1	1	・支援計画製作時のモニタリングは今年度3学期の懇談より行っている。やり方等の検討は今後改善していく必要がある。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11			・30分以上の個人懇談にて説明、同意を得ている。 ・説明後に署名・押印をもらっている。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			・連絡ノートの返信や必要に応じて電話対応を行っている。	・今後も必要に応じて行っていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	2	・保護者同士は親子通園等を通して関わる機会がある。	・保護者同士の交流の機会は設けているが、きょうだい児に対しては行っていない。 ・父母の会はない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	1		・なるべくその日中に対応をするようにしている。	・しっかりと助言ができる職員が少ないので、職員の経験など個々の立場で保護者をサポートできるように指導を続けていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			・毎月、園だよりを発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			・十分に留意するよう心掛けている。	・継続していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11				子ども・保護者の支援、情報伝達を必要に応じて迅速にできるよう心掛けていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	4	・隣接のこども園との交流は行っている。	・運動会等に来ていただくこともあるが、コロナをきっかけに減ったため、今後はもっと地域への案内をしていきたい。 ・感染症や不審者等の懸念もあるが、地域の方々に施設の行事等、参加して頂くことで、少しでも運営理解につながると思う。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	1	・毎月、避難訓練を行っている。	・マニュアルはあるものではないもある。 ・保護者には周知できていない物もある。 ・古いマニュアルの改定もしていく必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			・毎月の避難訓練、年一回は大災害を想定した内容の訓練を行っている。	・職員が危機感を持って訓練に参加できるようイメージ力をつけていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11				・入園時や適宜行っているが、全職員がしっかり把握できているかはもっと確認する必要がある。 ・服薬・予防接種・てんかん等のこどもの状況は確認しているが、各々の特徴等、事前の研修が必要と思う。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			・必要書類の提出、給食提供時の食器の色分け、調理室とのノートでの伝達、献立票の除去食のダブルチェックを行っている。	・引き続き取り組んでいく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			・定期的（月2回）施設の環境チェックを行っている。	・引き続き取り組んでいく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1		・入園時に周知している。 ・優先の緊急連絡先など、保護者に記入してもらっている。入園のしおりにも説明を記載している。	・引き続き取り組んでいく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1		・終礼にて報告、話し合いを行っている。 ・クラス単位で書類を作成している。	・随時ではできていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			・年1回の研修を行っている。 ・法人内に倫理委員会を設置し、3か月に1回会議を行っている。	・職員が実践の中でより虐待について理解し、意識ができるように引き続き知識を高めていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2	3	・療育室の扉の施錠は行うため、説明会等で伝えている。	・指針は作成している。 ・組織会議は今年度は未だである。個別支援計画には記載していない。 ・そこまでの確認・周知は行っていないため今後行っていきたい。 ・現在、身体拘束を行わないといけないう児がいなかったことで支援計画では見たことがない。